佐伯市自転車活用推進計画（概要版）

【計画策定の趣旨】

- ・国において平成29年5月に自転車活用推進法が施行され、同法に基づき総合的かつ計画的な自転車活用の推進を図るため「自転車活用推進計画、本部長：国土交通大臣」が平成30年6月に策定されたところであり、自転車活用の動きが急速に高まっている。
- ・県は令和元年12月に大分県自転車活用推進計画を策定。
- ・市においてはツール・ド・佐伯や上浦トライアスロン等の自転車イベントの開催、山間部振興局が連携した自転車事業（サイクルコース設定や動画配信、サイクルラック、案内看板の設置等）、協力隊を配置したサイクリング事業の実施（大入島周遊イベントやサイクリングキャンプイベント等）、台湾サイクリスト誘致の取組等サイクルツーリズムの推進に取り組んでいる。

自転車の活用については環境負荷の低減や健康増進、観光振興等さまざまな分野での効果が期待されている。また、withコロナ時代においてサイクルツーリズムが地方誘客のツールとして注目が高まる中、国、県の自転車施策の動向を受け、九州一広い本市の特性を活かし、自転車に関連した交通、環境、健康、観光などに係る各種施策を総合的かつ計画的に推進するために策定するもの。

●計画期間

令和3年度から令和7年度までの5年間

●計画区域

佐伯市全域

【現状と課題】

(1) サイクルツーリズム → ツールド佐伯の参加者数が年々増加（R1年1,842人）。山間部のサイクリングコースの整備が進んでいる。 ・サイクリストへのサイクルコース等の情報発信不足。 ・サイクルステーション等の拠点施設がない。	(2) 自転車の利用環境 → 自転車の通行環境がほとんど整備されていない。 ・レンタサイクル施設が少ない。 ・駅前駐輪場の日常的な混雑と駐輪スペース不足。 ・自転車利用を促進するための公共交通機関との連携。
(3) 自転車ルール・マナー → 交通事故は減少傾向にあるが自転車事故は横ばい。（直近20年で平均39件/年） ・自転車安全利用五則の周知不足。 ・自転車の安全利用に関する取組の強化。	(4) 自転車活用 → 自転車を活用した健康増進についての取り組みが少ない。 ・自転車通勤者の割合が少ない。

【推進方策】

●推進体制

佐伯市山間部サイクルツーリズム推進事業実行委員会を母体として、海岸部エリアを含めた市全域に跨る組織を整備し、庁内の関係部署や国・県等の関係機関、民間事業所等と連携して取り組む。

●計画の見直し

計画期末までに施策等の評価を行い、社会情勢等を踏まえて本計画の見直しを行う。

【計画目標と施策】

目標1 「サイクルツーリズムの推進」

- ①受入環境の整備
・サイクルイベントの実施 ・サイクリストの受け入れ体制構築と拠点整備促進
・サイクリングコースの整備促進
- ②国内外からのサイクリストの誘客
・情報発信の仕組みづくりとプロモーションの実施
・有名サイクリストによるファンライドツアーの実施
- ③自転車大会等の誘致
・シクロサミットの誘致 ・自転車大会・合宿の誘致
- ④JRとの連携
- ⑤近隣自治体との連携
・モデルルートの設定検討 ・ナショナルサイクルルートの設定検討
・サイクルルートの広域連携
- ⑥先進技術の利活用

目標2 「自転車を利用しやすいまちづくり」

- ⑦自転車通行空間の整備
・路線設定の考え方 ・整備形態 ・自転車ネットワーク計画
・サイクリングコースの通行空間整備促進
- ⑧駐輪場等の整備促進
・駐輪場の整備 ・民間駐輪場の確保
- ⑨レンタサイクルサービスの拡充
- ⑩路線バスとの連携

目標3 「自転車ルール・マナーの向上」

- ⑪自転車安全利用五則の周知
- ⑫自転車交通安全教育、啓発の実施
- ⑬自転車利用者のヘルメット着用の推進
- ⑭中学生・高校生への自転車点検教室の実施
- ⑮自転車の点検整備等による安全性の確保と保険加入の推進
- ⑯災害時における自転車の活用の推進

目標4 「自転車の利用による健康増進」

- ⑰自転車を活用した健康づくりの推進
・自転車を活用した健康増進の情報発信
・大分県が運営する健康アプリのポイント付与 ・自転車通勤者数の向上